



教育目標「学ぶ吉中 鍛える吉中 心の吉中」

吉田中学校だより

令和7年9月18日発行 第18号

Tel. 0256-93-3235

吉田中 HP「学校日記」

「校長 vision」お見逃しなく!!



関心＝教育の根本

校 長 武井 正明

43 になる教え子たち 4 人と盃を酌み交わした時のこと…。

工業会社の営業部長のヨシヒコ、大学の准教授ヒロシ、システムエンジニアのミチコ、そして建設会社のトオル。それぞれ自分の持ち場で奮闘している、いい顔をしていました。皆、立派になったなあ…。こういうのが教師として最も嬉しい、教師冥利に尽きる。

話題は「今の若い子を育てて行くにはどうしたらいいか？」4 人とも中間管理職の年代、悩みは尽きないようです。もう教え子というより飲み友達。それが、嬉しい。

当然、彼らの中学時代の話もたくさん出ました。

だいたいロクでもない話ばかりでしたが、皆が一様に嬉しい表情になるのは、私が、ひとりひとりのエピソードを話した時でした。

ヨシヒコは離任式の際に、私が毎朝黒板にメッセージを書いていたことを感謝の言葉に入れて送ってくれた。ヒロシは体操で北信越に行った。進路に悩んでいて「ヒロシはアタマ良いから A 高か B 高か、迷うよな」と声を掛けた。ミチコは副会長。阪神大震災の直後全校に募金を呼びかけた。その即断実行を全校生徒の前で褒めた。トオルは 1 年生時の三送会で、ドラえもんの着ぐるみで熱演した。特にヒロシとミチコは別のクラスだったから、なんでそんなに憶えてくれてるんですか、と驚いていました。

これは私の特技です。昨日のことでもすぐ忘れます。しかし、興味や関心のあることについては、自分でも呆れるくらい、いつまでもよく憶えているのです。

子どもは、先生が自分のことを憶えていてくれることは、本当に嬉しいものです。反対に一番悲しいのは、自分が忘れられてしまっていることなのだと思います。

まだ憶えている、忘れられない光景があります。

吉田のうどん屋さんでお昼を食べた時、ある父子が目に残りました。3 歳くらいの可愛い女の子。一生懸命お父さんに話しかけて、うどんを吸っているのですが、肝心の父親はスマホを見ながら、うどんを摘まんだ箸を彼女の口許に持っていつてるのです。

パパと楽しくお話ししながら笑顔のツルツルと、今のツルツル。餌をやっているのではありません。毎日の他愛ない会話の積み重ねこそが、温かい人格を形成していきます。

子どもに関心があること…教育の根本だと思います。

9/3(水) 力作が完成〜っ!!



9/3(水)2 年食育講演会



9/10(水)〜2 年職場体験学習



9/13(土) にいがた総おどりにカラーガード部が参加!!



9/12(金) 3 年生上級学校訪問出発



9/12(金) 1 年生職場見学出発



令和7年度9月下旬〜10月の主な行事

26(金) 体育祭

1(水) 新人戦激励会(6限)

2(木) 小中交流会(南小・粟小)

3(金) 小中交流会(吉小・北小)

7(火) 県央地区新人大会

3年実力テスト

14(火) 新人戦報告会(朝)

評議会・専門委員会

17(金) 質問教室(国数英)

20(月) 質問教室(社理)

21(火) 第2テスト①

22(水) 第2テスト②曲順抽選会

